様式３(2020.06改)

作成日　令和　3 年　2 月　12 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392000176
事業所名	グループホーム大清水彩幸

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板で地域情報の収集をしている。町内会長とは竜巻が発生した際には安否確認の連絡があり、緊急時の協力体制が築かれている。東大清水校区での認知症徘徊、災害訓練等での連絡網伝達訓練を実施し、地域連携も強化している。 近隣独居高齢者が訪れたり、電話で介護相談を受け付ける等、認知症専門事業所として役割を果たしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	推進会議は年6回、包括職員、民生委員、家族、同法人他事業所職員をメンバーとして開催している。今年度は新型コロナ感染対策として東三河広域連合と相談の上、法人内のみで実施された。会議で話し合った事例は職員へ周知し、業務改善や向上に努めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市役所窓口、広域連合、包括とは、感染症対策の観点から直接出向き話をする機会は減ったが、書類の郵送やメール、何かあれば電話で相談できる関係性を継続している。 介護保険事業者連絡会とはメールや動画配信サービス等での情報が届いたり、包括からは入居相談等の連絡があり、相互に協働関係を築いている。 認知症実践者研修等の市町村主催の研修への参加もしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	意見箱を設置し、利用者や家族の意見や要望を受け止める仕組みがある。 毎月グループホーム便りを作成し、写真を掲載し利用者の生活ぶりを伝えている。 感染対策で面会を中止していたが、利用者や家族の心情を考慮し、玄関先に面会室を設置し窓越しでの面会を実現させた。利用者や家族の不安軽減に努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	×	×	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R2年度
総合評価	◎										